

## 曳航訓練作業手順

- 1 参加艇集合時間 9:30
- 2 集合場所 A 海面待機場所、その後風向きにより B 海面を使用する場合は陸上本部から指示を出します。  
図示(A海面、B海面)  
訓練海域での救助艇の位置(X)および被救助艇の位置(Y)(図示)

### 3 海上訓練

**操船不能の艇まで救助に向かい曳航する。**

- 1班 バッカス(34f)(曳航船) シエスタ(30f)(被曳航船)  
この1班は何も指導を受けずに今までの経験を踏まえて曳航作業を行っていただきます。その後で指導していただきます。
- 2班 保安部巡視艇(予備艇)(曳航船) - スパークリングクラウド(33f)(被曳航船)  
モデルケース
- 3班 Marilyn(34f)(曳航船) アスト(32f)(被曳航船)  
1班、2班の指導・指摘事項を踏まえて曳航作業を行っていただきます。

警戒船 テンダーを1艇訓練海域に配置します。(ラウドスピーカーを積み込む。)  
見張り員の配置 位置-図示(ラウドスピーカー持)

### 4 陸上訓練(海上訓練終了後)

陸上本部隣接地にて曳航に必要なロープワークの訓練

### 5 連絡方法

陸上本部と曳航船 トランコを使って通信(曳航船に積んでるトランコは次の曳航船に渡す。)

陸上本部と警戒船・見張り員  
携帯電話にて通信